

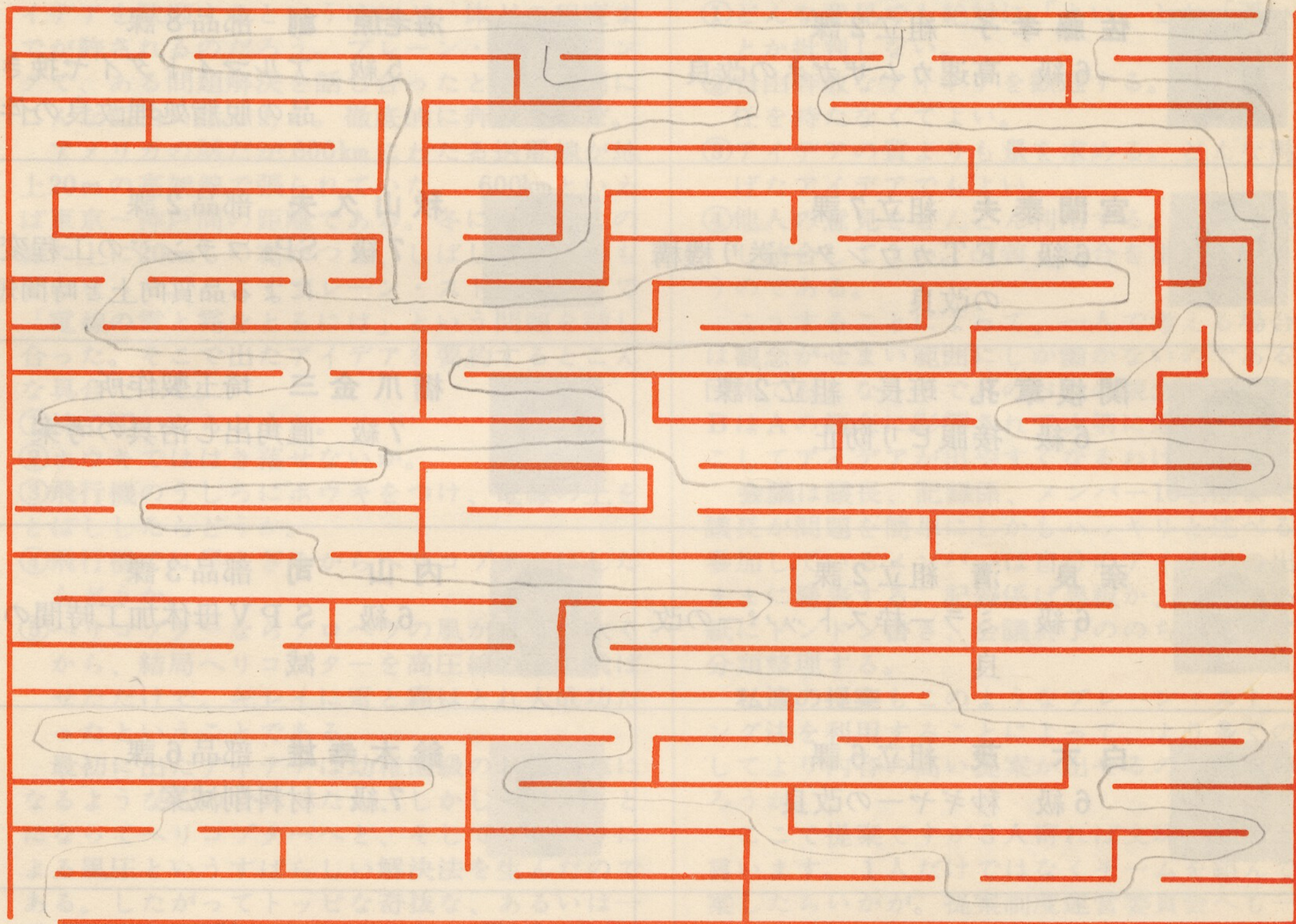


IDEA

1967. 9.

12号

提案制度運営委員会 ・ 発行責任企画教宣




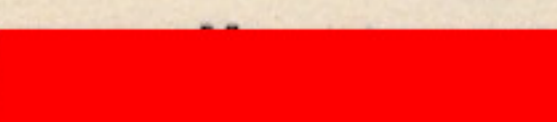

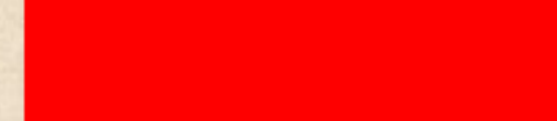
今期のテーマ

むだなく

- ☆ 材料のとりだし、おくりだしには**重力**を利用した器具の利用
 - ☆ 材料・部品の**取りやすい容器・器具**の利用
 - ☆ 材料・部品の長時間の保持には**保持具**の利用
 - ☆ 簡単な作業、または力を要する作業には**足・脚**を使う器具の利用
- ……………考えられませんか？

ペトリカメラ株式会社

42年7～8月期一般提案採用案件及提案者

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/>  組立2課 5級 口金引掛け修理防止 | <input type="checkbox"/> 埼玉製作所 7級 角度孔明治具の考案 |
| <input type="checkbox"/> 組立7課 6級 バルブ流れ防止 7級 V ₆ スピードダイヤル指標の改良 | <input type="checkbox"/> 組立6課 5級 レリーズストッパーの改良 |
| <input type="checkbox"/>  組立2課 6級 高速カムザガネの改良 | <input type="checkbox"/> 部品8課 5級 アルマイトダイヤ挽き部品の脱脂処理改良の件 |
| <input type="checkbox"/> 組立7課 6級 FTカウンター送り機構の改良 | <input type="checkbox"/> 部品2課 7級 SP ₂ フランジの工程変更による品質向上と時間短縮 |
| <input type="checkbox"/> 班長 組立2課 6級 接眼ピリ防止 | <input type="checkbox"/> 埼玉製作所 7級 直角出し治具の考案 |
| <input type="checkbox"/> 組立2課 6級 ミラー枠ストッパーの改良 | <input type="checkbox"/> 部品3課 6級 SPV母体加工時間の削減 |
| <input type="checkbox"/> 組立6課 6級 秒ギヤの改良 | <input type="checkbox"/> 部品6課 7級 材料削減案 |
| <input type="checkbox"/> 部品6課 6級 焼戻しで針金を便利使用する方法 | <input type="checkbox"/> シャッター部 6級 ASA回転調整治具 |
| <input type="checkbox"/> 部品3課 6級 多軸ボール盤にワークストッパー設置の件 | <input type="checkbox"/>  光学部 7級 レンズ清拭紙の節約 |
| <input type="checkbox"/>  部品7課 7級 アルマイト引掛治具整理時間短縮 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 組立1課 6級 PIピントガラス破損防止方法 |
| <input type="checkbox"/> 埼玉製作所 7級 金型針修正に抜き滓利用 | <input type="checkbox"/> 課長心得 東京センター 3級 二重撮影装置 5級 標準レンズ単体による接写装置 |

ブレイン・ストーミング（グループ提案のすすめ）

ブレイン・ストーミングというのは、アイデアを引き出すための一種のアイデア開発会議であり、ブレインとは頭脳のこと、ストーミングとは嵐を起こすことである。したがってブレイン・ストーミングとは私達の頭の中に嵐のような刺戟を与えて凡人の頭脳を天才のそれに一步でも近づけようとする方法を意味する。常識でしぼられていた頭を自由の天地に解放しようという方法で、そこでは**自由奔放**な発言がもっとも歓迎されるのである。自由奔放なトツピなアイデアを歓迎するというけれど一体どの程度までが許されるのだろうか。ブレイン・ストーミングで、ある問題解決を話し合ったときの事例にこんな面白い話がある。徹底的に奔放なのだ。

アメリカの話だが600kmにわたる送電線が地上20mの高架線で張られていた。600kmといえは東京～神戸間の距離である。冬になるとこの線の上に20cmもの霜がつき、しばしば事故のもととなった。そこでブレイン・ストーミングで「電線の雪と霜をとるには」という問題を話し合った。そこで出たアイデアを要約するとこんな具合だった。

- ①棒で叩いたらどうか。
- ②ホウキでははき落せないか。
- ③飛行機のうしろにホウキをつけ、電線の上をとばしたらどうか。
- ④飛行機では早すぎるからヘリコプターにしたらどうか。
- ⑤ヘリコプターならプロペラの風が真下へ吹くから、結局ヘリコプターを高圧線の上に飛ばせただけで、キレイに雪と霜はとれ大成功だったということである。

最初に出たアイデアは幼稚園級のお笑い草になるようなものであったが、しかしそれがもとになってヘリコプターへと、そしてプロペラによる風圧というすばらしい解決法を生んだのである。したがってトツピな奇抜な、あるいは一見くだらないと思われるようなアイデアでも頭

の中に引っ込めておかないで外に出すことが必要である。

これはオスボーンという人が考えだし、アメリカの各産業でそれが実施され、さまざまな発明・発見・改善を生んでいる。これは幾人かの人が集まって、ある一つの問題についてアイデアを出し合う会議である。

この方式と今日までの会議方式との根本的な違いは次の4つの規則があってそれに従って会議を行うことにある。

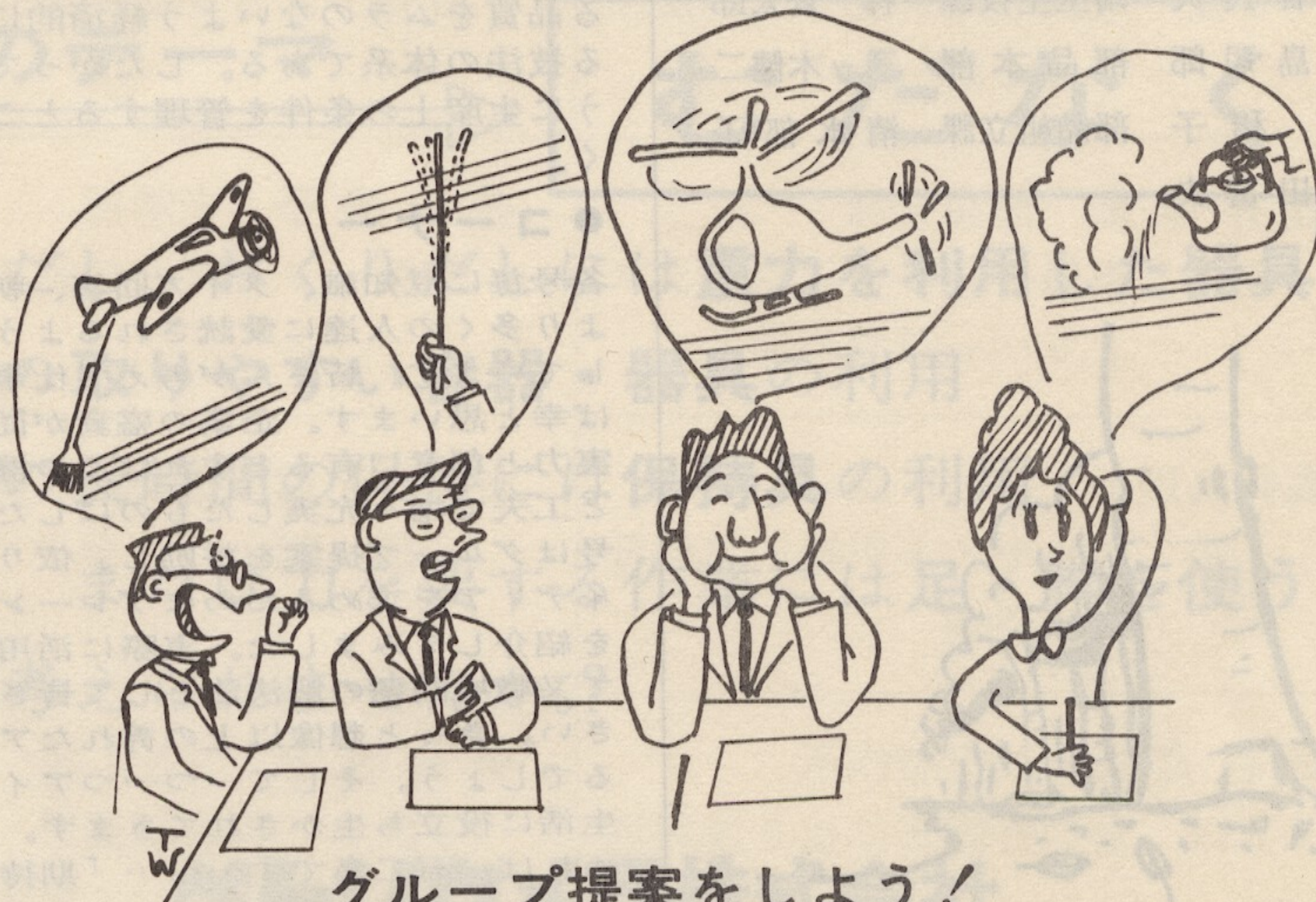
- ①どんな意見でも絶対に「よい」とか「悪い」とか批判しない。
- ②自由奔放なアイデアを歓迎する。発言には責任を持たなくてよい。
- ③アイデアの質よりも量を求める。どんな馬鹿げたアイデアでもよい。
- ④他人の意見をどんどん利用する。それを改善し結合してよい。改善と結合を求める。というのである。

こうすることによって、一人で考える場合には観念がせまい範囲にしか働かないのであるが団体でおこなうのでおのおのの観念が、AはB、BはAの観念に影響されて次第に連鎖反応をおこしてアイデアが出やすくなるわけである。

会議は議長、記録係、メンバー10名位まで、議長が問題を簡単にしかもハッキリと述べる。参加しているメンバーは自分のアイデアの出るままに発表する。記録係は黒板か、はってある紙にドンドン書き、会議終了ののちアイデアを分類整理する。

私達の提案もこのようなブレイン・ストーミング法を利用することによって、より多くのそしてより内容の高い提案が出せるのではないだろうか。

ここで提案ですが3人寄れば文珠の知恵とも言います。1人だけではなくチームを組んで提案したらいかが。提案制度運営委員会へも一言、チーム賞をも御一考下さい。（T・W記）



募集標語入選作品

提案制度運営委員会

応募総数 814編 特選 4編 入選 6編 佳作 18編

特選

「ムダはない」そんな心にムダがある

部品 1 課

なれすぎて ゆるむ心にムダがある

部品 3 課

ゆきさきつけて スピード連絡

部品管理課

ムダを逃さぬ みんなの目

組立 1 課

入選

良い品を、ムダなくつくる われらの手

組立本部

大切に、ムダなく使おう 消耗品

部品 3 課

ちょっとした、あなたのアイデア ムダ省く

光学 2 課

1秒をムダなく運ぶ 計画性

部品 8 課

つねに確認 ムダない作業

組立 7 課

見直そう ムダは貴方のそばにある

部品組立課

佳作

組立 7 課

組立 1 課

部品 3 課

部品 1 課

部品 5 課

部品 2 課

埼玉金型課

組立 2 課

埼玉生 1 課

部品 1 課

部品 3 課

部品 5 課

部品 6 課

部品 7 課

埼玉生技課

部品本部

部品組立課



電算機室紹介

より早く より正確に

世はまさに電子
計算機時代です。

多くの企業が電子
計算機導入の検討
を急いでいます。

そして、これから
の私達の生活は電
子計算機の正しい
認識と利用をおい
ては考えられません。



我社でも「MELCOM 1101」という電子計算機が、
技術計算に利用されているのを御存知でしょう。そ
して今年 5 月に、事務計算を目的とした電子計算機
室が誕生し、「NEAC シリーズ 2200 モデル 50」とい
う電子計算機での生産管理業務の機械化に取り組み
ました。

生産管理とくに、在庫管理は、帳簿制度では出納
の把握が一テンポ遅れがちです。在庫の無駄の排除
資金効率の向上、品切れの防止、確実な納期の実行
等、健全な在庫管理のためには、迅速で正確な管理
が必要となってくるわけです。

そのために、いかに早く、正確に、過去を知り、将
来を予測できるかというのが、電子計算機室の課題
であります。ほかに、原価計算、給与計算その他の
事務計算の機械化を夢見て毎日の業務に励んでおり
ます。(W)

豆知識

＝コミュニケーション＝

意志や情報の伝達と云う意味に使われる。

この伝達がうまくいかないと経営活動がバラバラに
なってしまう。そこで必要な相手に必要な意味を正
しく伝え、こっちが期待するように反応してもらう
よう努力がなされなければならない。そのような組
織、制度、道具などが考えられるようになっている。

＝コリテー コントロール＝

品質管理と訳されている。たんに製品を検査する
というだけでなく統計的な手法を利用して、要求され
る品質をムラのないよう経済的に作り出そうとする
技法の体系である。したがって不良品のでないよう
に生産上の条件を管理するところまで立入っていく。
(SH記)

●コーナー

各号毎に豆知識、クイズ回答、斬新な表紙図柄など、
より多くの人達に愛読されるよう、創意工夫に努力
しています。皆さんが考えて仕事をする一助となれ
ば幸と思います。企業の盛衰が従業員の一人一人の
実力と創意に有るとすればこの機関紙の内容も創意
と工夫で増々充実したものにしたいと思ひます。本
号はグループ提案を奨励し、依り多く依り秀れたア
イディアを求めるためにブレン・ストーミング法
を紹介してみました。実際に活用し生活の知恵とし
て又職場問題の解決法として皆さんで使ってみて下
さい。きっと想像以上の秀れたアイデアが得られ
るでしょう。そして一つ一つアイデアが自分達の
生活に役立ち生かされてきます。これを提案にまと
めれば一石二鳥です……「期待してまっせ」。

(K・M)